

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	9	竹 田 努	
<p>1. 福祉の町にふさわしい連携チームについて</p> <p>第6次木古内町振興計画も6年目を迎え、「生涯にわたり希望や生きがいを持ち続けられる北の大地の福祉都市きこない」の実現に向け、官民一体となった協働によるまちづくりに取り組んできたと思いますが、過去5年間の町長自身の評価を伺います。</p> <p>また、超高齢社会を迎えている木古内町が、安心して暮らし続けられるまちとして、「福祉都市きこない」にふさわしい施策を打ち出すべきと考えます。</p> <p>現在、公営住宅・生活保護・高齢者福祉など、高齢者に対応する課が複数あり、その各担当において、それぞれの立場で対応していますが、時には各課が連携しなければ対応が難しいケースもあると思います。</p> <p>このようなケースに対応するため、課を横断的に連携したエキスパートチーム「仮称おもてなしチーム」を立ち上げ、福祉都市らしい施策を検討すべきと考えますが、町長の考えを伺います。</p>			町 長

2. 公共施設等総合管理計画について

町 長

標記計画については、平成28年度末に概要が示され、9月2日に開催された第4回総務・経済常任委員会に個別施設計画の向こう10年間における修繕計画が報告されました。

この計画は、人口減少や高齢化の課題を抱える我が町として、急務な課題であり大きな期待をしていますが、心配なのは財源であります。

計画概要の説明時に施設の統廃合や廃止等により財政負担の圧縮を図るものと理解しましたが、一抹の不安も覚えます。

また、この個別施設計画については、財政部局と協議済みであり、具体的年次計画は、再度、協議の上、策定されるということです。

今後5年間の計画は、大きく変わることはないと思いますが、一方で振興計画や財政収支計画との整合性を図るべきと考えます。

そこで下記について、町長の見解を伺います。

記

1. 公共施設等総合管理計画と財政収支計画の整合性について町長の考えを伺います。
2. 旧中学校の後利用について、多少財政に余裕がある早い時期に建物を処分し、土地の有効活用を図るべきと考えるがいかがか。
3. 現在、車両通行止めになっている第一佐女川橋ですが、以前は、国の補助制度等を活用し、解体も含め検討するとの説明を受けたが、検討状況について伺います。
4. 法人から譲渡された旧恵心園は緊急災害避難施設との位置づけですが、その他、利活用の見通しはないのか伺います。